

CONTENTS

- P1 特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体
- P2 いしかわ百万石文化祭2023/全国警察空手道選手権大会
- P3 令和5年 全国殉職警察職員・警察協力殉難者 慰霊祭
Member's Lounge 「里親経験を踏まえた子ども子育て支援・社会的養護の課題と展望」 藤井康弘氏

発行所 一般社団法人
機動隊員等を励ます会
〒103-0025 東京都中央区
日本橋茅場町 3-2-10 鉄綱会館
発行人 中村 真一
TEL 03(5614)0710
FAX 03(5614)0719
http://www.hagemashi.com
jimukyoku@hagemashi.com

令和5年
12月号

はげまし

For the Riot Policemen
& Members

— No.569 —

特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体



鹿児島空港で駐車対策を行う警察官

鹿児島空港で奉迎者にお手振りする両陛下



鹿児島空港を出発される自動車お列



鹿児島空港内の事前検索



鹿屋市内沿道で奉迎者対応に当たる警察官



お召し船舶周辺の水中警戒



鹿児島空港内で子供の質問に対応する警察官



警備犬による鹿児島空港内の事前検索

去る10月7日から10月17日、国内最大のスポーツ大会である特別国民体育大会が鹿児島県で行われ、天皇皇后両陛下が即位後初めて鹿児島県を御訪問された。今年の国体の愛称は、「燃ゆる感動かごしま国体」。スローガンは「熱い鼓動 風は南から」である。鹿児島県内での国体は1972年の太陽国体以来、51年ぶりとなった。

国内最大の スポーツ大会 警戒警備を実施

総合開会式は、10月7日、天皇皇后両陛下の御臨席のもと、鹿児島市の白波スタジアム(県立鴨池陸上競技場)で行われた。両陛下の国体開会式への御臨席は、上皇皇后両陛下から御引継ぎにいられた重要な地方業務の一つである。

開会式が通告されると、スタジアム上空にブルーの日、天皇皇后両陛下の御臨席のもと、鹿児島市の白波スタジアム(県立鴨池陸上競技場)で行われた。両陛下の国体開会式への御臨席は、上皇皇后両陛下から御引継ぎにいられた重要な地方業務の一つである。

インパルスが登場し、祝賀飛行を行った。続いて、47都道府県の計約2700人の選手団が観客席に旗などを振りながら次々と入場。両陛下は選手団が入場すると、行進に合わせて拍手を送られた。最後に入場した開催地の鹿児島県選手団は、青と白を基調にしたユニホームを身につけ、「よっ(こ)鹿児島へ」と書いた横断幕を掲げ行進。観客席から選手らにひととき大きな拍手と声援が送られた。

かごしま国体はもともと2020年に開催される予定だったが、コロナ禍のため中止に。天皇陛下は、国体の延期に触れ「これまで、さまざまな困難の中で大会開催のために準備を重ねてこられた多くの皆さんの努力に深く敬意を表します」と述べ、関係者をねぎらった。さらに「国体が『コロナ禍からの再生と飛躍』を象徴する大会として、皆さんの心に残る、実り多い大会となることを期待します」とお言葉を述べられた。

コロナが5類に移行して初の開催となった本大会。会期前実施を含めて正式競技37、特別競技1の計38競技が行われ、選手・監督・役員ら計約2万3千人が参加した。鹿児島県警察の機動隊員や県外から特別派遣された部隊は、会場周辺での交通規制や奉迎者の安全確保、会場の不審物警戒など、全力を尽くして警戒警備を完遂した。

← 今月の賛助広告会員 →

- (株)辻さく
- (株)エヌテック
- 日鉄物流(株)
- 山陽特殊製鋼(株)
- 合同製鐵(株)
- 日鉄エンジニアリング(株)
- (株)モノリス

いしかわ百万石文化祭2023

第38回国民文化祭、第23回全国障害者芸術・文化祭

開会式に天皇皇后両陛下御臨席 機動隊員等が警備を実施

去る10月15日、いしかわ百万石文化祭2023(10月14日、15日、16日開催)の開会式が行われ、天皇皇后両陛下が御臨席された。天皇皇后両陛下は、即位後初めての石川県御訪問となった。

1986年に第一回大会が開催された国民文化祭は、天皇陛下がほぼ毎年御臨席されてきた地方行事。石川県内での国民文化祭開催は、1992年10月以

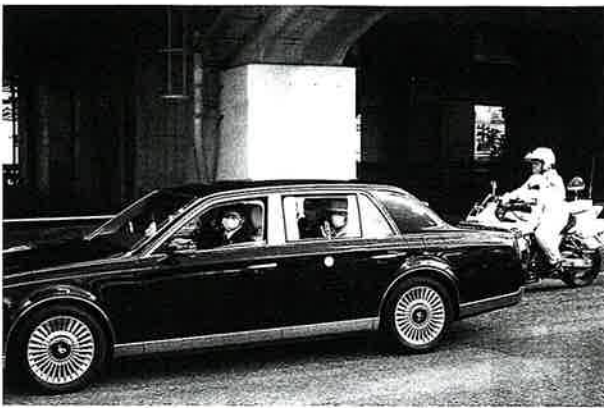
来2度目となる。

両陛下は15日の午前、羽田空港を出発し、午後小松空港へ到着。両陛下そろっての石川県御訪問は、25年ぶりとなった。

開会式は、いしかわ総合スポーツセンター(金沢市稚日野町)で行われ、約1500人が観覧。開会式のお言葉として、天皇陛下は皇太子時代に前回開会式に出席したことを振り返り「県内各地のさまざまな催しを見たことを懐かしく思い出します」と述べられた。そして「地域に息づく伝統や文化の良さを再認識する機会となり、文化芸術活動の裾野を広げ、新たな文化

の創造につながっていくことを期待しています」と述べられた。

いしかわ百万石文化祭のキャッチフレーズは「文化絢爛」。オープニングステージでは、開会式総合ディレクターの狂言師野村萬斎氏や、石川県内の文化、障害者団体の関係者らが石川の文化を音楽や踊りで表現。両陛下が拍手を送られた。両陛下の御訪問に伴い、石川県警察の機動隊員や県外から特別派遣された部隊は、行幸啓先の沿道での交通規制や奉迎者への対応を実施。また、式典会場周辺では不審物の検案などを徹底し、無事に警備を完遂した。



自動車お列で御移動される両陛下



沿道に集まる奉迎者



会場周辺等における警戒



会場における両陛下



奉迎者への対応

全国警察空手道選手権大会

3年ぶりの開催 伊澤常任理事、赤木監事が来賓

去る10月21日、第24回全国警察空手道選手権大会が神奈川県横浜市の横浜武道館で開催された。本大会はコロナ禍で中止が余儀なくされ、3年ぶりの開催。全国17都道府県警察から精鋭選手が参集し、団体組手と女子個人組手が行われた。

警察の空手道は、逮捕術にも有効な武道として古くから認知されており、また2020東京オリンピックで空手競技が正式種目になったこともあり、高校・大学での空手道経験者が各都道府県警察空手道部で研鑽を積み

ことも多くなっている。今回大会では、コロナ禍の困難な状況においても怠ることなく、各々精進を重ねてきた成果が十分に発揮された。

団体組手戦は、まず4つの予選リーグ戦が行われ、1位・2位チームが決勝トーナメントに進出した。決勝戦は、前回優勝の警視庁と岡山県警察の対戦となったが、総合力で勝った警視庁が3-1で勝利し前回大会に続いて連覇、17回目の優勝を果たした。

女子個人組手は、全国から選ばれた18名の選手が白熱した試合を展開した。決勝は、大会

初出場で、高体連・学連、プレミアリーグなど国際大会でも実績のある新垣夏紀さんが、これも高体連・学連での実績のある秦美乃里さんを制して、初優勝を飾った。

当会から伊澤常任理事、赤木監事が来賓参加した。



← 今月の賛助広告会員 →

- 日本製鉄株
- 日鉄建材株
- 日鉄鋼板株
- 三井物産スチール株
- 大東港運株
- 岡谷鋼機株
- 堀口海運株

令和5年 全国殉職警察職員 警察協力殉難者 慰霊祭

新たに8柱の御霊を合祀

去る10月28日、警察庁と(公財)警察協会主催の慰霊祭がグランドアーク半蔵門にて行われた。式には岸田文雄内閣総理大臣、松村祥史国家公安委員会委員長、露木康浩警察庁長官、遺族等約130人が出席。当会からは中村理事長と伊澤常任理事が参列した。

今回新たに合祀された殉職警察職員は7柱、また警察協力殉難者は1柱の計8柱であった。式では合計6270柱の御霊を慰めた。音楽隊の演奏のなか、儀仗隊員により、殉職警察職員・警察協力殉難者名簿が奉納された。次いで露木長官は「7柱の警察職員は治安を維持するため旺盛な使命感を持って、地域警察活動、交通警察活動、術科訓練といった様々な警察活動に昼夜を分かたず従事されていたなか、誠に残念ながら、志半ばにして職に殉ぜられた方々です。いずれの方々も世のため人のために、積極果敢に職務を遂行され、警察職員としての誇りと使命感を、身をもって示されました。また、1柱の警察協力殉難者におかれましては、自らの危難を顧みず、滑落した登山者を助けようとするなか、不幸にして命を落とされた方です。このような人を想う献身的な行いは、誠に気高く、崇高なものであります。私たちは、改めて御霊の尊い行いと身をもって示

された御遺志を胸に刻み、全国警察が一丸となって職務に邁進し、国民の皆様の期待と信頼に応えていくことを、ここに固く誓うものであります」と式辞を述べた。長官の式辞の後、参列者全員で黙とうを捧げた。

続いて岸田首相は追悼の辞で、「皆様が身をもって示された高潔な精神と確固たる勇気は、私たちの誇りです。同時に最愛の御家族を失われた御遺族の皆様の深い悲しみに思いを致し、哀惜の念に堪えません。御遺族の皆様に対し、衷心よりお悔やみ申し上げます。私たちは御霊の尊い御遺志を受け継ぎ、我が国で暮らす方々を犯罪や災害の脅威から守るという責務を全うし、安全で安心な日本を次の世代に引き継ぐために全力を尽くしてまいります」と誓った。続いて、松村国家公安委員会委員長の追悼の辞の後、今年5月、長野県中野市で猟銃などにより4人が殺害された事件で亡くなった県警中野署地域課の池内卓夫警部(階級特進)の長男で、同県警池内将吾巡査部長が遺族を代表し、「父の背中を見て崇高な職業を志しました。父が県民の安全と安心を提供するために職務に励んでいたこと、家族を本心に心から愛し、愛されたことを私は誇りに思い続けています」と、追悼のことは述べた。その後、参列者が献花した。最後に田中警察協会会長が挨拶し、閉会した。

Member's Lounge 機動隊員等を励ます会 10月の朝食講演会

子ども家庭庁が発足して半年。児童虐待の増加など我々が取り組まなければならない課題は多い。今回は厚生労働省で里親や児童養護施設などの福祉分野に携わり、自身も17年にわたって里親として子どもたちと生活している藤井代表幹事にご講演いただいた。

里親経験を踏まえた子ども子育て支援。 社会的養護の課題と展望



<9月21日のゲスト>
ふじい やすひろ
藤井康弘氏
全国家庭養護推進
ネットワーク代表幹事
元厚生労働省
障害保健福祉部長

プロフィール
1960年 大阪府生まれ
経歴
1983年 厚生省入省
保険局、旧自治省、旧老人保健福祉部、
旧業務局、岡山県庁、
ジェットロニユークセンター、
環境省等を経験
2006年 厚生労働省雇用均等・
児童家庭局家庭福祉課長
2008年 同 障害保健福祉部障害福祉課長
2009年 同 企画課長
その後、大臣官房国際課長、
大臣官房書機官(年金担当)を経験
2014年 厚生労働省社会・
援護局障害保健福祉部長
2016年 厚生労働省退官
2019年 全国家庭養護推進ネットワーク立ち上げ

養育里親として2007年、東京都に里親登録。これまで短期・長期等で10人余りの子どもたちとともに生活。現在も一人受託中。

1. 社会的養護の概要

近年の我が国の子育ての課題としては、共働きが主流になり、子育てが地域や親戚といった助けを得にくく、孤立しがちであることが挙げられます。私は外部からの支援なしに、夫婦だけで子どもを養育することは不可能だと思っています。これは学歴や所得水準は関係ありません。高学歴高収入の夫婦でも、教育虐待で保護される子どもがたくさんいます。これからお話しする「社会的養護」とは、辛い環境の中で子育てに苦しみ追い詰められて虐待に至る、あるいは養育能力を失った家庭の子どもたちを保護し、生活を保障する制度です。児童虐待や里親、児童養護施設といった話は、自分とは別世界だと受け止められることもありますが、しかし、子育て支援や社会的養護のニーズは決して特別な人に限った話ではなく、どんな家庭でも十分に関わる可能性のある世界です。この国の社会の現実として、自分ごととして捉えていただければありがたいです。

現在、保育所や子ども園を含めて家庭に対する子育て支援は、基本的に市町村の仕事になっています。虐待や親御さんの疾病等で家庭が弱体化し、子どもの養育能力が失われていくと、都道府県の児童相談所が動くこととなります。そして子どもを一時保護し、施設や里親に養育を託す構造になっています。

現在、保育所や子ども園を含めて家庭に対する子育て支援は、基本的に市町村の仕事になっています。虐待や親御さんの疾病等で家庭が弱体化し、子どもの養育能力が失われていくと、都道府県の児童相談所が動くこととなります。そして子どもを一時保護し、施設や里親に養育を託す構造になっています。

2. 施設から家庭へ

社会的養護の対象児童は約4万2000人とされ、その8割ほどが児童養護施設を中心とした施設におり、2割くらいが里親家庭です。先進諸外国はこの割合が概ね逆で、里親委託を増やしていくことが二十数年の我が国の大きな政策課題となっています。大きな問題は、やはり児童虐待が増えていることです。相談件数は急上昇しており、児童養護施設で6割、里親でも4割弱の子どもたちが虐待経験があります。特に増えているのが心理的虐待です。児童虐待防止法が改正され、DV(家庭内暴力)で配偶者が殴られたりしている時に子どもがその場にいると、子どもへの心理的虐待になるという定義づけがされており、これが増えています。子どもの背景という意味では、障害のある子どもたちも多い。いわゆる発達障害、あるいは知的障害といった子どもたちも多くなってきています。国の政策として、「施設から家庭へ」という大きな流れがあります。平成28年の児童福祉法改正で法律上も明文化されましたが、子どもを支援するときの第一優先順位は、まず実親が家庭で養育を維持するために保護者を支援すること。それが難しく、児童相談所が保護した場合には、家庭と同様の環境、すなわち里親家庭による養育が第二順位になります。それも難しい場合には施設になりませんが、その施設もできるだけ良好な家庭的環境とされていく、これはいわゆるグループホーム、定員5〜6人の、一軒家をイメージした小規模型の施設を指すとされています。

3. 里親への登録

里親には、養子縁組を目指す「養子縁組里親」と、私自身もそうですが、養子縁組を前提とせず実親に親権がある状態のまま子どもたちを養育する「養育里親」とに大きく分かれます。他にも親族里親、専門里親などもあります。里親には、子どもの生活費と手当が自治体から支給されます。養育里親で手当が月額9万円ですので、日本の里親は有償ボランティアくらい位置づけだと私はイメージしています。

→ 今月の賛助広告会員 ←
新ケミカル商事(株)
大阪製鐵(株)
芝本産業(株)
五十鈴(株)
自見産業(株)
平和農産工業(株)
宮崎精鋼(株)

▷ 4 (つ) ◁

(P3からつづく)

里親として自治体に登録する際は、犯罪歴等々の要件があるほかは、さしたる登録要件はありません。共働きでも単身であつてもLGBTQ(性的少数者を包括的に指す総称)のカップルであつても、どなたでも登録することができま

す。あえて言えば所得と資産はチェックされます。これは子どもを働かせて搾取することを防止するためです。

里親の動機や経歴は様々です。動機として、子どもが欲しくて授けられないから、というケースもありますし、経歴として1~2人の子どもを長期育てる家庭も多いです。数ヶ月までの短期を専門とする方もいらっしゃいます。

私が里親登録をしたのは46歳の時でした。私は実子が男の子ばかり3人いますが、登録時、長男次男は地方の大学に下宿しており、三男だけが家にいる状況でした。子育てもほぼ終わりがけていた妻が、当時ファミリーサポートという制度を使つて共働きのお子さんの預かりや、障害児の通学支援などを行つており、次のステップとして何をしようかと考えていたところ、私が職場で社会的養護の担当課長になりました。妻は虐待の悲惨な実例を私から聞いて、自分も何か役に立てないかなと考えたというわけです。私も厚労省の職員として、自分の足元に福祉の現場を持つているのはありがたいことだったので、登録に至りました。

子どもたちの生育歴は一概に過酷で、問題行動もいろいろありますが、何一つとも本人の責任ではありません。あえて言えば、生まれてから今日まで関わってきた大人たちの責任です。私たちはその認識を強く

持つて対応するようにしています。

我が家は里親をしてまだ17年ですから、ベテランの域には達しませんし、決して優秀な里親でもありませんが、長期短期を合わせて10人余りの子どもたちと生活を共にしてきました。大変なことをやっていると思われ方もいるかもしれませんが、過酷な生育歴を背負つてきた子どもたちが、それでも自分なりに頑張つて成長していく姿を見ると、やはり感動させられます。

4. アタッチメント(愛着)の重要性

なぜ児童福祉法で施設より家庭を優先するのかというと、国連の児童の権利条約でも求められているのですが、最も大きな理由はアタッチメント(愛着)が、家庭のほうで得られやすいからです。このアタッチメントは、あまり世の中に知られていませんが、子育てにおいて最も重要で、私たちが子どもたちの社会的養護を議論するときの基本的な概念です。

特に乳幼児をイメージするとわかりやすいのですが、乳幼児は様々な欲求を泣くことで表現します。この時に特定の大人が共感的かつ継続的に関わることで、子どもは絶対的に自分を守ってくれるその大人の存在を、言わば自分の安全基地だと認識すると言われています。この関係を愛着やアタッチメントと呼びます。

子どもです。大人との関係を拒否したり、逆にどの大人にもくっついて行つたり、あるいはADHD(注意欠陥・多動性障害)やアスペルガー症候群などの発達障害と同じような特徴になったりします。基本的に大人を信じていませんから、例えば1日3回食事をとるとか、お風呂に入るといったごく基本的な生活習慣がなかなか身につかず、勉強を教えるにしても間違っていると認識しただけで、いじめられていると認識して暴力を振るうという子どももいました。

5. 政策の課題

乳幼児期に特定の大人との安定した愛着が得られるかどうかは、子どもの将来の人生に大きく影響します。この上なく大事な要素だと思つています。そして、この愛着アタッチメントの対象は母親でなくても構いません。父親はもちろん他の大人でもいい。このアタッチメントが、子どもと24時間365日共に生活する里親家庭のほうが、施設に比べて得やすく安定しやすいということになります。

家庭養護を推進するには、里親をもっと増やさなければなりません。しかし実はそのための議論がありません。もし里親に関心を持たれたら、いきなり子どもを長期に受託するのはなかなか大変です。例えば市区町村のショートステイで、さほど課題の多くない子どもを短期間預かることから始めていくことを私は推奨しています。

そして里親の支援体制の整備も必要です。里親は立場として障害児を養育する家庭とほぼ同じではないかと私は思いますが、里親家庭に対する支援体制は障害児支援に比べてもこの上なく脆弱です。率直に言えば、子どもが暴れても、現状では多くの児童相談所は土日や夜間の連絡がつかず、誰も助けてくれません。里親家庭は基本的に一般家庭なので、多くの子どもたちが課題を抱えている現状のもとでは、専門的知見に基づく密度の高い支援、組織だった支援は不可欠なのです。

私は厚労省で三十数年にわたり、医療、介護、障害、いろいろな分野に携わらせていただきましたが、諸分野の中でこの子どもたちほど二切の自己責任が問えないにもかかわらず不平等、不公平が放置されている分野はないと思つています。子どもたちに機会均等を保証することは、我が国の政治行政の最大の課題だと思つています。そして、子ども子育て支援の拡充のためには、当然ですが社会全体の資源の再配分が必須です。岸田政権でもいろいろ議論をしていて、まだ先の見えない状況ではありますが、財源が必要であることは間違いありません。

講演後質疑応答

Q 里親委託率について、オーストラリア、カナダ、アメリカ、イギリスなどが日本よりも委託率が高いのはなぜでしょうか。

A 欧米各国について言えば、児童福祉、社会的養護の成り立ちの違いも大きいと思います。日本の社会的養護は戦災孤児をお寺や教会に集めたところから始まっていると

いうので、里親委託は、児童相談所にとつては施設に措置するのに比べ、格段に手間も時間もかかるので、児童相談所の体制確保が不可欠です。

Q 日本の里親委託率が低い理由は、日本の血縁主義的な意識が強いことでしょうか。

A 確かに日本の社会はそういう面があります。少し切り口が違うかもしれませんが、私は日本の親権が強すぎるかと考えています。虐待する実親に対する親権停止あるいは親権の喪失をもつと積極的でもないのではないかと思つています。民法も欧米並みに親権を弱めてもいい。その意味でも日本は血縁を重視しすぎているのではないかと思つています。

ころから児童相談所で仕事が増えていくことは目に見えていたわけですから、その時から迅速に人材の育成をして体制整備をしていけば、こんなことにはならなかったと思つています。今、人材を急激に増やそうとしていますが、人を増やしても新しい人材を指導する人たちがいない。児童相談所に配属されたばかりの若い児童福祉士が一人で私どものところに来ることもあります。前任者が引き継ぎも兼ねて一年くらいは同行してOJTで指導する体制を作らなくてはだめだと言いつつ、なかなかできないとことごとく思つています。ただこれも教が揃わなければいけないとことごとく思つています。人を育てるのは時間がかかります。一朝一夕にはいかないのです。児童相談所の体制整備はまだまだ時間がかかると思つています。一方で、できるだけ社会福祉法人やNPOなどの民間に任せられるところは切り離すというやり方も必要だと考えます。

編集後記

10月28日、全国殉職警察職員・警察協力殉職者慰霊祭が執り行われました。長野立てこもり事件に駆け付け、亡くなった池内警部のご長男が遺族を代表して追悼の辞を述べ、参加者の涙を誘いました。警察官としての誇りと使命感を身をもって示された皆さんのご冥福をお祈りします。(励ます会事務局)

日鉄ステンレス(株) 日鉄物産(株) 玉造(株) 藤田金屬(株) 東鋼業(株) 豊田通商(株) (一社)機動隊員等を励ます会 東北支部